江口ひさみ通信

■発行日／平成28年11月30日 ■発行／葛飾区議会議員 江口ひさみ
■葛飾区奥戸８-11-7-213 TEL.03(3696)3189
■葛飾区議会公明党 葛飾区立石5-13-1 TEL.03(3695)1111(大代表)

秋冬号

区議会報告

平成28年 第3回定例会

一般質問で提案・要望しました。

葛飾版ネウボラについて

Q 江口 ネウボラにおいては保健師などの専門職が妊婦さんのサポーターであるべきことを考えると、本区においてネウボラを展開するのに相応しいのは、保健センターであると考えますがいかがでしょうか。

A 区長 本区においてもネウボラは効果の高い妊娠、出産、育児支援策であると考えております。

葛飾版ネウボラ事業を構築するに当たっては、保健センターが核となり、全ての妊産婦と家庭の状況を把握し、個々の母子とその家庭の状況に応じて妊娠期から就学前までの子どもの健やかな成長・発達の支援、家族全体の心身の健康を支援する体制を整備してまいります。

自助力の強化・向上のための防災施策について

Q 江口 災害時の本区を取り巻く環境を想定した要素を盛り込み、是非、乳幼児のいるご家庭向けの葛飾版防災ブック(仮称 かつしか防災ママブック)を作成して頂きたいと思いますが、区のお考えをお聞かせください。

A 危機管理防災担当部長 講習会やワークショップなどを通じての活用を図るとともに「乳幼児のいるご家庭向けの葛飾区版防災ガイドブック」の作成も検討してまいりたいと考えております。

Q 江口 防災意識の向上などの意味から、防災対策関連のサイン(避難場所等)は、避難場所等が明示されたシールを作成し、既存の消火器ボックスに貼ってはいかがでしょうか。

A 危機管理防災担当部長 視認性の良いシールによる最寄りの避難場所の案内などを明示することは有効手段と考えます。また、街路消火器の周知につながり、初期消火活動や延焼防止に有効と考えるので、導入に向け検討します。

認知症の正しい理解と共生の地域社会づくりについて

Q 江口 「かるた」など世代を選ばずに遊べるツールを作成し、区内の小中学校、高齢者施設、児童館などに配布、活用することにより、認知症に対する正しい知識の普及啓発の裾野が広がると考えますが、区のお考えをお聞かせください。

A 区長 広く公募した認知症に関する標語などを基に、区民やボランティア団体、有識者等多様な分野の方々の参画をいただき、かるたやトランプなど気軽に遊べるツールとしたり、ポスターや看板、旗などに標記するなど効果的に活用できる方法を検討したうえで実施してまいります。

家族介護者に寄り添う仕組みづくりについて

Q 江口 本区としても、「訪問レッスン」のように、介護に不安を感じている家族介護者のもとへ訪問して、不安や疑問を解消し、身体的・精神的負担を軽減できるような仕組みを取り入れるべきと思いますがいかがでしょうか。

A 福祉部長 介護技術の習得支援である「訪問レッスン」につきましては、国の検討状況を注視しつつ、家族介護者教室の参加実態を把握したうえで検討してまいります。

奥戸フラワーパークの活用について

Q 江口 現在計画的に公園の再整備が図られておりますが、奥戸フラワーパークについても早期に計画を立て、リニューアルオープンを図るべきと要望致します。区のお考えをお聞かせください。

A 区長 開園後12年が経過しておりますので、より魅力ある公園にするため、今後はバリアフリーの観点や来園者の利便性を考慮しながら、リニューアルとともにPRの方法などの検討を進めてまいります。

Q 江口 バラの魅力をもっと引き出し、知ってもらうために、バラの見頃の時期にバラフェスタを開催し、太陽光エネルギーを活用した夜間のライトアップを試みてはいかがでしょうか。

A 都市施設担当部長 バラフェスタの開催や夜間のライトアップは、区民との協働を念頭に関係機関と連携して検討してまいります。

平成27年度 決算審査特別委員会（分科会）で提案しました。

- 熱中症予防対策の強化推進
- 犬のしつけ教室 愛犬手帳の実施
- 認知症アプリの導入
- 特別支援教室の整備充実